

第一回 IT 活用研究会(大阪) 議事録	
日時:	2010/10/15(金)14:00~17:00
会場:	大阪丸紅ビル 13F E 共用会議室
テーマ:	【Windows OS + IE9】~7 導入の実態とIE の HTML5 対応~
講師:	マイクロソフト株式会社 デベロッパー&プラットフォーム統括本部 UX&クライアントプラットフォーム推進部 IT Pro エバンジェリスト 田辺 茂也 氏
司会・進行:	IT 活用研究会座長 三星ダイヤモンド工業株式会社 経営企画本部 業務管理部 情報システム課 林 道彦 氏
<p>※当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。</p>	
<p><第二部ディスカッション:参加者の意見まとめ></p> <p>1: Windows 7について</p> <p>■ Windows XP にてほとんどの場合不都合は感じていない(Vista や7で無ければ無い機能にはまだ余り魅力を感じない)できれば Windows XP や IE6 を使い続けたいがサポート切れでやむなく検討しなければならないというのが参加者の意見。中でも Windows 7 対応していない業務アプリケーションをどのように利用し続けられるかに質問が集中した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも IE6 か XP で無ければ動作さえしない業務アプリを OS と同時に移行するには労力も費用も容認できないものとなる可能性が高い ・ ベンダー側で(旧バージョン等で)未検証のためサポートのなくなっているアプリを7上では安心して利用できない <p>■ ダウングレード権を用いて XP を(2014 年まで)利用し続けられないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すでに数社のメーカーが別売りと言う形でインストール媒体を販売を始めている。ユーザレベルとして XP を再インストールすればこれからも利用できる可能性もありそうだ。 <p>■ XP モード(仮想環境について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想化することによってライセンスが二重にかかるのではないか? →基本は 2 倍必要、クオリティやトレンドマイクロについては特例を設けている例もある。 ・ 7が動く環境であれば結構ストレス無く動作している感じがするがネットワークも仮想化しているためクライアントを特定するタイプのアプリ(ウイルスバスター等)では注意が必要 ※初期値は NAT ・ 仮想環境 XP のサポートは単体の XP と同じ。2014 年にはパッチが出なくなる。 <p>■ OS の切り替えに関して参加者のほとんどが、PC の入れ替えタイミングと考えており、それまでに課題を解消したいと考えていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い替えならば仮想 Mode にこだわらず旧 XP 環境は手元に残しておき、移行 PC として7を導入も検討の価値ありと思われる。 	

2: IE9 について

- HTML5 にて標準化が進むとすれば独自路線の取りにくくなって IE9 のセールスポイントは？
 - ・ とりあえず高速で動く事がアドバンテージだと考えている。
 - ・ GPU の能力を利用できるので分散化も手伝って非常に高速である。これはチップセットに内蔵のもので効果が歴然とある。
 - ・ 実は IE8 が特殊で IE9 は標準化に重きをおいているので条件によっては IE6 との親和性が高いことも考えられる。
- 今でさえ IE6 と IE8 で苦しんでいるのに IE9 等が出てきたら更に混乱度が増すのではない？
 - ・ IE6 で作ったアプリケーションは IE8 で駄目でも IE9 では利用できる可能性がある
 - ・ IE9 は互換モードが数種類選べる IE8 IE7 IE6 以前 これにより細かく対応する予定
 - ・ セールスポイントにもあるが IE8 が特殊なので IE9 なら動くアプリもあるはず (試してみる価値あり)
- HTML5 について
 - ・ 正直まだ仕様が固まっていないのでどうこう言えないが IE9 では積極的にフォローするつもり
 - ・ Office 等の連携で独自性を出す予定は？
→未定です。